

平成29年度事業計画

(期日：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年3月25日(土)

公益財団法人 日本レスリング協会

平成29年度事業計画

「方針」

公益財団法人日本レスリング協会の定款に定める目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。特に、2020年東京オリンピック大会に向けては、国民の皆様の期待に応えるため、金を含む10個のメダル獲得を目指すこととする。このため、協会関係者が一丸となり「選手強化」を主軸とした運営を図っていく。また、本年度は次の目標を掲げ、日本レスリングの伝統を継承していきたい。

「目標」

1. 2017年シニア世界レスリング選手権大会（男女）での金メダル獲得。
2. 2020年東京オリンピック大会に向けての徹底した強化指導体制の確立。
3. 2020年東京オリンピック大会向けのシニア・ジュニア選手（ターゲット選手）の強化育成と一貫指導体制の確立。
4. レスリング界における暴力行為等及びハラスメントの根絶とコンプライアンスの遵守。
5. 日本レスリング協会アンチ・ドーピング規定の遵守。
6. 選手育成に向けての公認スポーツ指導者（レスリング指導者）の養成と推進。

1. 選手の育成・強化を図る事業

(1) 国際大会に選手団を派遣する。

【シニア選手団派遣事業】

- ① 2017 年シニア世界選手権大会（フランス／パリ）において金メダル獲得を目指す。
（フリー・グレコ・女子）
- ② シニアアジア選手権大会（インド／ニューデリー）において金メダル獲得を目指す。
（フリー・グレコ・女子）
- ③ 2018 年女子ワールドカップ（日本／高崎市）の団体優勝を目指す。
- ④ ゴールデングランプリ決勝大会（アゼルバイジャン／バクー）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ⑤ その他国際大会
 - ア. ヤリギン国際大会（ロシア／クラスノヤルスク）
 - イ. タクティカップ国際大会（イラン）
 - ウ. ポーランド国際大会（ポーランド／ワルシャワ）
 - エ. メドベジ国際大会（ベラルーシ）
 - オ. クリッパンレディースオープン大会（スウェーデン／クリッパン）
 - カ. ビルファーレル国際大会（米国／ニューヨーク）
 - キ. デーブシュルツ国際大会（米国／コロラドスプリングス）
 - ク. スペイン国際大会（スペイン／マドリッド）
 - ケ. ヤクーツク国際大会（ロシア／ヤクーツク）
 - コ. ウクライナ国際大会（ウクライナ）
 - サ. フランス国際大会（フランス／パリ）

【ジュニア・カデット選手団派遣事業】

- ① 2017 年ジュニア世界選手権大会（フィンランド／タンペレ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ② 2017 年ジュニアアジア選手権大会（台湾／台中）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）

- ③ 2017年カデット世界選手権大会（ギリシャ／アテネ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ④ 2017年カデットアジア選手権大会（タイ／バンコク）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）

【ベテランズ大会派遣事業】

2017年ベテランズ世界選手権大会（ブルガリア／プロブディフ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指すとともに国際交流を推進する。

【その他の格闘競技大会派遣事業】

- ① 2017年世界グラップリング選手権大会（アゼルバイジャン）に選手を派遣する。
- ② 2017年世界パンクラチオン選手権大会（インド）に選手を派遣する。
- ③ 第5回アジアインドア・マーシャルアーツゲームズ（トルクメニスタン）に選手を派遣する。
（レスリング フリー・グレコ・女子）
（ベルトレスリング・サンボ・柔術・クラッシュ・ムエタイ）

（2）国際事業の実施

- ① 2018年シニア女子ワールドカップ大会を群馬県高崎市で開催する。

期間：平成30年3月17日（土）～18日（日）

会場：高崎アリーナ

- ② 海外のチームを招待し、合同強化合宿を実施し競技力の向上を図る。

ア．中国ジュニアチーム（女子）との合同強化合宿

イ．フランスナショナルチーム（フリー・グレコ・女子）との合同強化合宿

ウ．ロシアナショナルチーム（フリー・グレコ・女子）との合同強化合宿

（3）選手強化合宿事業を実施し、競技力の向上を図る。

- ① ナショナルチームの国内強化合宿

世界選手権大会・アジア選手権大会及び国際大会等の日本代表選手の強化を図るため、

国内強化合宿を実施する。(男子フリー14回・グレコ13回・女子11回)

併せて、2020年東京オリンピック大会の対策ターゲットエイジの強化合宿を実施する。

② ナショナルチームの海外強化合宿

ア. グレコ海外遠征(ハンガリー・ポーランド・スペイン・フランス) 海外合宿及び国際大会に参加する。

イ. フリー海外遠征(ロシア・米国・フランス) 海外合宿及び国際大会に参加する。

ウ. 女子海外遠征(スウェーデン) 海外合宿及び国際大会に参加する。

エ. 世界選手権大会帯同合宿(フランス)に参加する。

(4) ジュニア・カデット選手の強化合宿事業を実施し、競技力の向上を図る。

① 大学生の国際競技力強化のための学連合同強化合宿の実施

② NTSブロック研修会の開催(中学生も含む)

③ NTS中央研修会の開催(男女)

④ 高校生(女子)強化合宿の実施

⑤ 中学生(男子)強化合宿の実施

⑥ 少年少女エリート強化合宿の実施

(5) JOC委託事業のナショナルコーチ等並びに専任コーチングディレクターを配置し、

トップレベルの選手並びにターゲット選手・エリートアカデミー選手の強化育成を図る。

① ナショナルコーチ

ア. 栄 和 人 (強化本部長)

イ. 西 口 茂 樹 (強化副本部長)

② アシスタントナショナルコーチ

ア. 笹 本 睦 (グレコローマンスタイルコーチ)

イ. 前 田 翔 吾 (フリースタイルコーチ)

ウ. 藤 川 健 治 (総務)

- ③ 専任コーチングディレクター トップ（2名）
 - ア. 木名瀬 重 夫 （女子レスリングコーチ）
 - イ. 江 藤 正 基 （JOC エリートアカデミーコーチ）

- ④ 専任コーチングディレクター ジュニア強化コーチ（3名）
 - ア. 小 幡 邦 彦 （中央担当コーチ）
 - イ. 藤 波 俊 一 （ブロック担当コーチ）
 - ウ. 吉 村 祥 子 （女子担当コーチ）

- ⑤ 専任情報・科学スタッフ（1名）
 - ア. 斎 藤 修 （国際審判員・インストラクター）

- ⑥ NTC専任コーチ（1名）
 - ア. 藤 山 光太郎 （NTC担当）

（6）ターゲットエイジ育成強化事業（2024年を目指す事業）

ターゲットエイジ育成強化事業を実施し、カデット及びジュニア選手の強化育成を図り、2024年のオリンピック大会とその後に向けて、永続的に育成強化システム構築事業を目指す。

（7）JOCスポーツ指導者海外研修員の派遣

スポーツ指導者海外研修員として海外に派遣し、海外の選手強化対策等について調査研究し将来の我が国のレスリング界を担う指導者として育成する。

- ① スポーツ指導者海外研修員 長期派遣
 - 米 満 達 弘 （ロンドン五輪金メダリスト・自衛隊）
 - 平成29年8月31日まで（米 国）

(8) 海外研さん活動の実施

JOCより認定された特別強化指定選手及びその指導者を海外に派遣し、競技力の向上を図る。

(9) 海外情報収集等のための派遣

- ① 世界レスリング連盟（UWW）の主催するコーチクリニックに強化コーチ及び審判クリニックに国際審判員と関係者を派遣する。
- ② 海外情報収集のためヨーロッパ選手権大会等に映像の撮影及び分析のため情報収集員（強化コーチ）を派遣する。

(10) 世界レスリング連盟の主催する大会への帯同審判員の派遣

世界選手権大会・アジア選手権大会及び国際大会等に帯同審判員を派遣し、審判員の技術向上を図る。

(11) JOC能力育成教育

特別強化指定選手であった選手の中から、教育機関に入学等を予定している者を対象として、将来に向けて職業や実生活に必要な知識や能力を育成する。

- ① 高橋 侑希（ALSOK）筑波大学院 申請中
- ② 屋比久 翔平（日本体育大学）日本体育大学院 申請中

(12) JOCエリートアカデミー事業

優れた素質を有する選手を強化育成し、将来オリンピック競技大会を始め、国際大会等で活躍できる選手を育成する。

平成29年度JOCエリートアカデミー生 男子3名・女子4名 計7名

(13) マルチサポート事業アスリート支援

オリンピック競技大会を目指すトップレベル選手に対し、多方面から専門的かつ高度な支援を受けて実施する。このため、スポーツ庁から委託されたJISS及び筑波大学との連携を密にして支援体制の確立を図る。

① アスリート支援

- ア. 映像の撮影及び分析 イ. フィットネスコーチ ウ. 栄養管理
エ. マネジメント支援 オ. 情報収集・分析・戦略

② 競技用具研究開発

- ア. レスリングシューズ・シングレット等の研究開発（研究開発メーカー：アシックスグループ）
イ. トレーニング器具の研究開発（研究開発メーカー：ニシスポーツ）

2. レスリングの普及・発展のための事業を実施する。

(1) 協会主催大会事業

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| ① 天皇杯全日本レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ② 明治杯全日本選抜レスリング選手権大会 | 国立代々木第2体育館 |
| ③ 72回国民体育大会レスリング競技会（少年・成年・女子） | 宇和島市総合体育館 |
| ④ JOC杯ジュニア全日本レスリング選手権大会 | 横浜市文化体育館 |
| ⑤ 内閣総理大臣杯 全日本大学レスリング選手権大会 | おおい町総合運動公園体育館 |
| ⑥ ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑦ 風間杯全国高等学校選抜レスリング大会 | 新潟市体育館 |
| ⑧ 全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑨ 沼尻杯全国中学校レスリング選手権大会 | 水戸市立水府体育館 |
| ⑩ 全国少年少女レスリング選手権大会 | 北九州市立総合体育館 |
| ⑪ インターハイ（女子レスリングの部） | 上山市三友エンジニア体育文化センター |
| ⑫ ビーチレスリング沖縄大会 | 沖縄県豊崎美らSANビーチ |
| ⑬ ビーチレスリング大洗大会 | 茨城県大洗サンビーチ |

(2) 各傘下連盟主催大会事業

- | | |
|------------------------|------------|
| ① 東日本学生リーグ戦 | 駒沢体育館 |
| ② 西日本学生春季リーグ戦 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ③ 東日本春季新人戦 | 駒沢体育館 |
| ④ 東日本学生女子レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑤ 第65回全日本社会人レスリング選手権大会 | 和光市総合体育館 |

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ⑥ 西日本学生新人戦 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑦ 高校総体インターハイ | 上山市三友エンジニア体育文化センター |
| ⑧ 全日本学生レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑨ 第12回全日本女子オープン選手権大会 | 三島市体育館 |
| ⑩ 全日本学生グレコローマン選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑪ 西日本学生レスリング選手権大会 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑫ 第34回全国社会人オープンレスリング選手権大会 | 逗子体育館 |
| ⑬ 全国中学生選抜レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑭ 西日本学生秋季リーグ戦 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑮ 東日本秋季新人戦 | 駒沢体育館 |
| ⑯ 全日本マスターズレスリング選手権大会 | オリンピック青少年センター |
| ⑰ 第22回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 | 板橋区小豆沢体育館 |

(3) 国際交流の実施（ジュニア）

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 日米高校交流 | (米国遠征・国内受入) |
| ② 日韓ジュニアスポーツ交流 | (韓国遠征・国内受入) |
| ③ 日韓中学生交流 | (韓国遠征) |

(4) 指導者講習会（公認スポーツ指導者資格）

公認レスリング指導者及び公認レスリングコーチの講習会を実施し、地域スポーツクラブ等において、初心者や子供達を対象にレスリング競技の基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。併せて、国民体育大会における監督へ公認指導員の資格を習得させる。

(5) ホームページによる主要大会の動画及びデータベース構築の充実

日本のトップレベルの試合（国内外）の映像を全国のレスリング選手・指導者・ファン関係者への提供により、レスリングの強化と普及を推進する。また、本協会の記録を、報道を含めてだれもが簡単に検索できるよう、データベース構築の充実を図る。

(6) 2020年東京オリンピック大会レスリング競技会支援事業

2020年開催の東京オリンピック大会に向けては、組織委員会にレスリング競技における「スポーツマネージャー」を協会から派遣し、同委員会及び世界連合（UWW）と緊密に連携を取り競技運営等の業務及び準備活動を積極的に行う。

3. その他定款の目的・事業を達成するために次の事業を実施する。

- (1) レスリング指導者における体罰・暴力行為等及びハラスメントの防止対策に向けての、徹底した指導を強化する。
- (2) アンチ・ドーピング事業の推進を図る。
- (3) ナショナルトレーニングシステム（NTS）事業の実施に向けては、各ブロック研修及び中央研修会においては、一貫指導体制の充実を図る。
- (4) 国際ルールの改正に伴い、審判講習会を積極的に実施し、審判技術の一層の向上を図る。
- (5) 選手強化のため、味の素ナショナルトレーニングセンター及び十日町市桜花レスリング道場の強化拠点施設を有効使用する。
- (6) 日本オリンピック委員会（JOC）のスポーツ環境専門部会に参加し、環境保全活動を積極的に推進して行く。
- (7) レスリング競技の普及・発展のため、広報活動を積極的に実施する。